



2025年  
第108号  
3月1日

成田山だより

# 佛光

特集 開創140周年記念・春彼岸

## お釈迦さまの

## 説法の始まりは

## どうだったの？

お釈迦さまは修行の後、欲や執着など一切の迷いを克服することで得た悟りの境地を人々に説くことなく、菩提樹の下に坐り、入滅するつもりでした。

お釈迦さまが見出した「中道<sup>ちゆうだう</sup>の精神」は、これまでインドの思想にはなかった考え方で、「自分が悟った真理は非常に奥深く極めて難しい。たとえ人々に説いても理解する者はほとんどいないだろう。」と躊躇<sup>ちゆうちゆう</sup>している、梵天という神が現れ、説法をためらうお釈迦さまに「世の中には泥の中から咲きでる蓮のように、聖者の教えを受けて花を咲かせる者もおりましょう」と、教えを説くように要請しました。



梵天勸請（お釈迦さまに説法を懇願する梵天）

## 鹿野苑で初めて法を説く

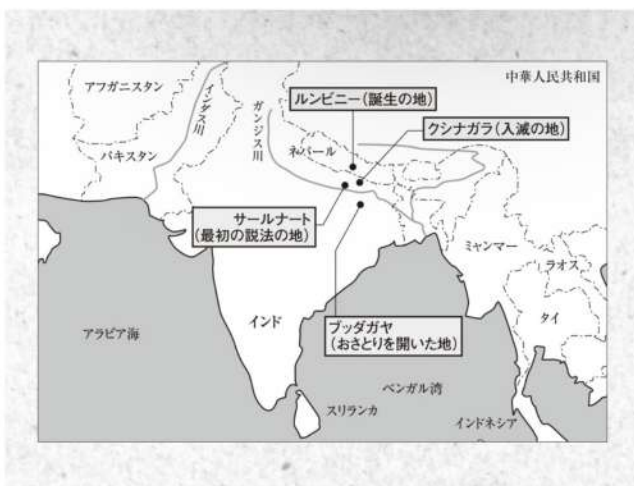
そこでお釈迦さまはようやくやく立ち上がり伝道説法の旅に出発されたのです。伝道の相手として、最初に選んだのは以前、苦行をともにした、五人の仲間たち「比丘」でした。彼らはベナレス郊外サルナートのミガダーヤ（鹿野苑）にいたというのでそこにお釈迦さまは向かいました。

ミガダーヤに到着し、五人の比丘たちに説こうとしても、最初は聞く耳を持たない態度でしたが熱心に自ら得た悟りの内容を説いていくことで、知らず知らずのうちに跪き、み教えに耳を傾けはじめました。この説法を初転法輪（教えの輪が世の中に広まる）と言います。

お釈迦さまの教えは、世の中が変わっても人間の本质には変化がないことを示され、今もなお、人々の心に深い感動を与え、生きるための指針となっています。



初転法輪（五人の比丘に初めての説法）



# 花まつり

お釈迦さまの誕生日



甘茶を注いで

お釈迦さまのご誕生を

お祝いしましょう

花御堂荘厳  
ご法楽奉修

3月28日~4月8日  
4月8日(火)朝護摩後

# 新春初詣報告

初詣期間中、多くの檀信徒皆様にご参拝賜りました。午前零時の元朝大護摩修行にて、谷主監より参拝者の皆さまへ新年のご挨拶を致しました。今年も日々ご本尊様のご加護を賜りご安寧にお過ごし下さいますようご祈念申し上げます。



お不動さへ一年の平安を祈るご信徒



除夜の鐘



大晦日の参拝者



無病息災  
健康長寿の  
お加持



お休み処で談笑するご信徒



甘酒とみかんをご接待



札幌鳶組合による新春木遣り奉納



御守り授与所



# 新春大護摩祈願者

(敬称略・順不同)

成田山札幌別院 責任役員 渡部宗男	新日本空調株式会社 北海道支店	三機工業株式会社 北海道支店	安全衛生協会	高瀬塗装工業株式会社 代表取締役 石山勝利
成田山札幌別院 総代 坂東和宜	北海道旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 駅業務部 部長 石崎雅文	三機工業株式会社 北海道支店 代表取締役 伊藤浩二	北海道支店	株式会社タカセ 代表取締役 石山勝利
成田山札幌別院 総代 株式会社札幌ニット 代表取締役 武田 久	北海道旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 営業部 部長 森下 昌	ネットワーク・サービス株式会社 代表取締役 伊藤浩二	北海道支店	カメイ株式会社 北海道支店 支店長 大橋建治
成田山札幌別院 奉賛会役員 ながた恵秋	東光電気工事株式会社 北海道支店 支社長 末田晴久	株式会社セーフティステップ 代表取締役 高木茂光	札幌支店長 高橋和明	建設塗装工業株式会社 札幌支店長 高橋和明
成田山札幌別院 奉賛会役員 北海葬祭株式会社 代表取締役相談役 松井 務	株式会社ヘクセルワークス 北海道支店 執行役員支店長 黒川雅美	株式会社アシバックス 代表取締役 高木茂光	サンコー事務機株式会社 代表取締役社長 東田正則	大森千穂子 フラワーアカデミー
株式会社明奉工業 代表取締役 小林大介	北海道軌道施設工業株式会社 代表取締役社長 奥芝義人	株式会社TOMMY 代表取締役 上村明寿	有限会社RECC 環境サービス 代表取締役 上村明寿	高木茂光 小林大介 坂東英雄
三水鐵工株式会社 札幌営業所	札幌工業株式会社 代表取締役社長 坂本孝司	株式会社エコロジーライフ 代表取締役 池 耕太		
日本ドライケミカル株式会社 札幌支店 支店長 藤井良孝	株式会社E.C.F. 代表取締役 蝶野哲也			

ご信徒皆さまの諸願成就を  
ご祈念申し上げます



節分祭  
追儺豆まき式奉修

福男・福女、檀信徒皆さまの  
開運招福・厄難消除を  
ご祈念申し上げます



さっぽろ名妓連  
〈特別参加〉



伊蝶森高武なが松坂渡  
東野瀬田た井東部  
幹哲義惠和宗  
世也明秋久秋務宜男

節分祭豆まき式  
福男・福女参加者芳名

高福榎佐小宮沼池池上上寺川横丸大南南岡伊  
島田本藤内崎田村村田村道山畑部岡丸  
祐二美竜彩裕貴知耕可明公千梨鈴順美博啓幸  
也葉子志乃司子子太菜寿司子穗華子香康子市

(順不同、敬称略)



勢いよく福は内!!



# 節分豆まき祭



福は内



節分祭護摩祈願



お不動さまに一年の幸せを願い豆まき

五穀豊穡





開運招福



本堂内「満堂御礼」

立春大吉



福は内



さっぽろ名妓連・七福神の演舞

本年も、節分豆まき祭を奉修し、当口は福男・福女皆様と、国土安穩・開運招福を祈願し盛大な豆まき祭となりました。総勢40名の福男・福女・子供豆まき皆さまのご参加をいただき、満堂御礼となり、熱気と笑顔に包まれました。又、本年はさっぽろ名妓連様総勢11名にて、祝いの演舞七福神の姿で披露をいただきました。



# 札幌別院新栄寺一四〇周年記念大祭へ向けて

本年、札幌別院新栄寺一四〇年の記念の年を迎えるにあたり、新栄寺総代の坂東様と同じく総代の武田様より一四〇周年記念大祭へ向けてお話を伺いしました。

— まずは新栄寺とのご縁について改めて教えてください —

**坂東** 当家は代々新栄寺の檀家としてご先祖様の供養をはじめ、家内安全のお護摩祈願をお願いしてお不動さまのご加護をいただいております。

**武田** 私の家でもご先祖様のご供養やお護摩祈願で商売繁盛・家内安全をご祈願いただき日々お不動さまにお守りいただいております。

— 開創一四〇周年記念大祭に向けて、お気持ちを教えてください —

**坂東** 今年は、新栄寺が開創されて一四〇周年の記念の年を迎えるにあたり、渡部責任役員を中心に



総代・奉賛会副会長  
ばん どう かず よし  
坂 東 和 宜 様

谷主監さんのご指導のもと私たち総代をはじめ奉賛会役員一丸となり檀信徒皆様とともに、お祝いいたしたく存じます。

この節目の年を迎えることができますのもご本尊さまはもとより多くの檀信徒皆様のご信仰とご支援の賜物であります。私たち総代一同は、この一四〇年の歴史を振り返り、先人たちのご努力と地域の皆様の温かい支えに深く感謝の念を抱いております。記念行事では、成田山の教えを次世代へと伝え、不動信仰の輪が広がることで、地域社会貢献へつながる機会となりましたら幸いです。



【掲額イメージ】

本年の大祭が札幌別院の新たな歩みの一助となることを願って、檀信徒皆様には何卒お参り下さいますよう、お願い申し上げます。

**武田** 成田山札幌別院新栄寺の開創一四〇周年を迎えるにあたり、記念大祭を意義深く開催できますことは大変ありがたく慶祝申し上げます。

また、新たに「成田山」山号額を奉安掲額を発願され、見事に完成されましたことには二重の喜びであります。

この山号額製作にあたっては、檀信徒皆様の温かいご信援とご協賛の賜物であり、総代並びに奉賛会一同、深く感謝申し上げます。



一四〇年の歴史を刻む本別院が、不動信仰の光に包まれこれからも地域に根差し、皆様とともに歩む存在であり続けるよう、努力してまいります。  
檀信徒皆様には引き続き御本尊不動明王さまのご信仰を賜りますようお願い申し上げます。

坂東総代様、武田総代様には、開創一四〇周年記念大祭の無魔成満へ向けて絶大なるお力添えを賜り、今後とも檀信徒皆様の先達としてご精進下さいますようお願い申し上げます。

また、檀信徒皆様には、どうぞ六月二十八日開創一四〇周年記念大祭へのご参拝お待ち申し上げます。

総代・奉賛会理事  
たけ だ ひさし  
武 田 久 様

札幌成田山開創140周年  
記念大祭稚児お練り行列

令和7年6月28日(土)

■ 募集人数 30名

■ 参加料 1万円 (1名)



©成田山新勝寺

※イメージ写真

お稚児さん大募集

別院開創140周年にあたり慶祝稚児お練り行列参加稚児を募集します。稚児の意味は、仏法の守護神や天人が童子の姿で人間界に現れた「天童」になぞらえています。古来から天童稚児を勤めたお子さまは、元気で健やかに育つといわれております。このおめでたい稚児お練り行列にご参加ください。

札幌成田山開創140周年  
特別慶祝行事

# お稚児さん募集

開創140周年記念大祭を祝し本年  
令和7年6月28日(土) 稚児お練り行列を  
執り行います。

つきましては下記により募集致します  
ので、お子さまの健やかな成長を祈念し  
ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。



## 記

- 1、募集人数 定員30名 (定員になり次第締め切り)
- 2、参加料 1万円 (稚児衣装代、御守り、記念品)
- 3、日 程
  - 1) 集合日時 令和7年6月28日(土) 午前9時00分 ※雨天同様
  - 2) 集合場所 成田山新栄寺2階慈照閣ホール
  - 3) 用意頂くもの 腰ひも・履物(履きなれた靴)
  - 4) 順 序 ① 衣装着用 ② 記念撮影 ③ 出発場所へバスで移動  
④ お練り(所要時間20分) ⑤ 本堂前にて稚児加持のち解散
- 4、問い合わせ 成田山新栄寺 011-511-0927 FAX011-511-0928

## 切り取り線

## 稚児参加申込書

衣装サイズ 以下を参考にし、該当欄を○で囲んで下さい。

					大	特大
身長	85cm以下	85~97cm	98~109cm	110~119cm	120~134cm	135~145cm
年齢	2歳以下	2~3歳用	4~5歳用	6~7歳用	8~9歳用	5~6年生用

稚児氏名 \_\_\_\_\_ 男・女

付添人氏名 \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_ 連絡の取れる電話番号 \_\_\_\_\_

# 札幌成田山開創140周年記念 志納者特別護摩札

新栄寺開創140周年記念にご協賛いただきました檀信徒皆さまには、特別護摩札をお授けいたします。今後ともご信心を深められ、お不動さまの大威神力により檀信徒皆さまのご平安を祈念いたします。



## 特別協賛志納者

(山号額ご芳名浄書・御護摩札(右)・貫首自筆色紙  
・ご神酒・大供物・祝い箸)

## 一般協賛志納者

(御護摩札(左)・主監自筆色紙・ご神酒・小供物・祝い箸)

授与品に関してのお問い合わせは  
当山受付までよろしくお願いたします。

# 開創記念特別御護摩札 限定授与 (100札)



新栄寺開創140周年を迎えるにあたり、特別記念護摩札をお授けいたします。

祈願料 御護摩札 1万円(50札) (祈願札・祝い箸・ご神酒・大供物)

御護摩札 5千円(50札) (祈願札・祝い箸・ご神酒・小供物)

※願意(願い事)は、心願成就となります

申込開始 令和7年4月1日(火)

# 春彼岸



雪溶し

寒さ and 和らぐ

春彼岸



春のお彼岸は、春分の日を中日として前後三日ずつの七日間です。彼岸の意味は、煩惱を捨てた悟りの境地である「到彼岸」、向こう岸へ渡るといふ意味の略語とされています。

仏教では現実世界を「此岸」、あの世を「彼岸」と言います。「西」の方角は仏様の世界を表す「西方浄土」と呼ばれています。そのため、一年の中で太陽が真西に沈む彼岸の時期が仏教行事を行うのに適していると考えられるようになりました。

春彼岸も太陽が真西に沈む時期であり、お墓参りやご先祖様のご供養を行うのにふさわしい時期といえましょう。

## 春彼岸のお供え物

春彼岸のお供え物は何を選んでもよろしいですが、春彼岸には、「ぼたもち」をお供えされる方が多いようです。「ぼたもち」と、秋彼岸にお供えする「おはぎ」は同じものですが、季節によって呼称を変えており、春に咲く花の「牡丹」、秋に咲く「萩」がそれぞれの名前の由来です。また、春彼岸にはアイリスや牡丹など、春らしいお花をお供えするのもよろしいでしょう。





# 春彼岸法要のご案内

**3月20日(木) 午前11時**

**慈照閣セレモニーホール**



◎ お塔婆供養料 1本 3,000円

◎ お申し込み ①本堂受付 ②郵便  
③電話 ④FAX

TEL 011-511-0927

FAX 011-511-0928



お願い

**3月20日は春彼岸の為、  
月命日のお参りをお休みさせていただきます。**



# — 塔婆のお申し込み方法 —

お申し込みについては左記の申込用紙に、施主様のお名前・ふりがな・住所・電話番号を下記の説明と記入例をご参照の上、ご記入ください。

お申込み方法として、①お彼岸参りやお盆参りに伺いました僧侶にお渡しいただく  
②新栄寺受付③ファックスにて送信④郵送のいずれかでお早目にお申し込みください。

## お塔婆供養料 1本 3,000円

なお、当日法要間際にお申し込みの場合、浄書が間に合いませんので、  
前日19日までに お申し込み下さいますよう、お願い申し上げます。

### 【ご説明】

左記の申し込み記入例の場合は、

先祖供養が1本	3,000円
	+
水子供養が1本	3,000円
	+
物故者が2本	6,000円

塔婆の合計は4本で 12,000円  
となります。

- ・お塔婆1本に1御霊のみ浄書です。
- ・ご先祖さま全員を供養の場合は「先祖供養」に苗字をご記入ください。
- ・新盆の御霊、友人の御霊ほか、供養の場合は「戒名」にご記入ください。  
(俗名でも構いません)

法要内で、施主様のお名前をお読みいたしますので、  
ふりがなを必ずご記入ください。

不明な点は当山へご連絡ください。

### 【記入例】

戒名	戒名	水子供養	先祖供養	施主	
				お名前 ふりがな	ご住所
成田爾子	〇〇院〇〇〇〇居士	成田家水子精霊位	成田家先祖代々精霊位	成田一 <small>なりた いちろう</small> 郎	札幌市中央区 南7条西3丁目2
位	位	電話番号 511-0927			

戒名	戒名	水子供養	先祖供養	施主		電話番号
				お名前 ふりがな	ご住所	
位	位	水子精霊位		先祖代々精霊位		電話番号

戒名	戒名	水子供養	先祖供養	施主		電話番号
				お名前 ふりがな	ご住所	
位	位	水子精霊位		先祖代々精霊位		電話番号



本堂地階【光明殿】奉安

成田家  
施主 成田花子殿



大日如来像 (小)  
100万円(永代供養含む)  
大日如来像 (中)  
300万円(永代供養含む)



成田花子殿

観音菩薩像  
10万円  
永代供養  
1御霊50万円  
2御霊70万円



成田花子殿

不動明王像  
10万円



成田花子殿

地蔵菩薩像 3万円



本堂地階【地蔵堂】奉安

写真のようにお納仏に  
施主様のお名前プレートを作ります。

新栄寺では、お不動さまをはじめ、大日如来、観音菩薩、地蔵菩薩とのご縁を深めていただくために各尊像のお納仏をおすすめてしております。  
お納仏とは、大切な仏様とご結縁むすぶ縁することです。日々のご平安を願うものです。お申込みされますと、芳名を尊像に浄書し、本堂地階の光明殿に奉安して毎日、貴家のご繁栄と諸願成就をご祈願いたします。あわせて貴家先祖代々の御霊を永代にわたり供養いたします。仏様のご加護を願いお納仏されますことをおすすめて申し上げます。

永代供養・お納仏のおすすめ



# お位牌供養



お位牌に尊家先祖代々を浄書のうえ、「地藏堂」に奉安、毎日読経してご供養いたします。

ご先祖様や故人の御霊に感謝の誠を捧げ、家門繁栄並びに子孫長久をお祈り下さい。

尚、お申し込みは、宗派を問わずお受け致します。

一、供養料 一基 二十万円 (二霊位のみ浄書)

一、文字 「故人の戒名」又「〇〇家先祖代々之霊位」

一、施主名 施主名はお一人のみ (位牌裏面に浄書)

一、回 向 お位牌完成時にはご都合の良い日にご来山

いただき、開眼回向を執り行います。

一、お申込 本堂受付に申込用紙をご用意しております。



お位牌のサイズ

縦 33 cm  
横 16 cm



本堂地階 地藏堂に奉安

# ご先祖さまの供養をお寺で

新栄寺では、現在の生活様式に合わせてお寺にてご先祖さまのご供養を行なっております。普段、新栄寺より月参りの訪問をしている檀家様のみではなく、全檀家様が対象ですので新たにお寺でのご供養をご希望の場合は、お電話にてお申し込み下さい。なお、不明な点は何でもお尋ねください。

ご供養のあり方も状況に応じた姿でご継続いただきたく、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## ご供養の時間

慈照閣セレモニーホールにて時間を定めてご供養いたします。

時 間 平 日 13:30～  
土日祝日 13:00～

※特別行事がある場合等、日にちや時間の変更はございます。

参列ご希望の際は電話にてご確認ください。

## お布施

- ・月参りに伺っている檀家様 月参りのお布施と同様
- ・新たにご供養を希望の檀家様 月3,000円から  
(お申し込み後、郵便振替用紙を郵送いたします)

## お申し込み方法

次のページの申し込み用紙を当山受付にてお申し込みされるか、郵送またはFAXにてお送りください。

到着後、①短冊作成②月命日供養台帳に浄書③供養回向を開始



厄除け・交通安全・健康長寿

# お祓い祈願



## 厄除祈願

祈願料 3千円 (祈願札・供物・祝い箸)

厄年、開運を願う方などを不動明王の威神力により、  
一切の厄難をお祓い祈願いたします



## 交通安全祈願

祈願料 3千円 (祈願札・供物・祝い箸・シール)

「仏心にぎるハンドル事故はなし」  
不動明王の威神力により車と運転手、同乗者の無事故、  
安全をお祓い祈願いたします

## 健康長寿祈願

祈願料 3千円 (お札・供物・祝い箸)

けがや病気の快復、祝い年、健康で長生き、  
精神的にも強くなりたいなどの願いをお薬師  
さんに祈願いたします





# 奉納御礼

左記奉納いただき、誠に  
ありがとうございます。  
(敬称略)

のぼり旗



日牌



高後 亮

修 濟 宮

てらりーまん 慈英  
木村 信幸

玉垣(小柱)



石石 丸丸  
ソト 枝茂

石 丸 明 弘

石 丸 弘 子

玉玉 手手 千貞 恵子 雄



石石 塚塚 尾所 田所 西尾 叶文 黄文 中村 佐藤 柳谷 柳谷 日日日向 日日日向 玉木 張平 高藤 佐藤 福田

道雄 悦恵 智一 耕世 文均 滋琛 麻紀 陽子 亜美 藍風 恭崇 恭子 宗泰 宗平 擁亮 縁人 亜栄子

平井 連司 諸雄 諸留 諸留 飯島 柳風 荒谷 尾形 尾成 尾忠 齊哉 齊行 柳本 柳子 柳均 柳子 越後 越美 越清 藤嶋 藤美 藤直 土屋 土直 寒江 寒華 寒江 寒子 劉西 劉政 小野 小政 平野 平義 佐藤 佐義 介廣 秀介

(順不同、敬称略)



# 能登半島地震及び奥能登豪雨 復興支援明王募金ご報告

令和6年1月1日に発生した。能登半島地震義援金のために明王募金を本堂正面に設置し、一年間ご参拝の皆様にお願いをしてみました。

この程、1月23日に輪島塗り職人の方々が所属する輪島漆器商工業協同組合へ復興支援義援金として送らせていただきました。こちらの組合への支援は、私たち寺院には漆塗りの物が沢山奉安されており、日本の伝統文化を守る一助になればますことを願い、直接支援させていただきます。

明王募金へ心温まるご支援金をしていただきました檀信徒皆様には衷心より厚く御礼申し上げますと共に不動さまのご加護のもと一日も早い復興を祈念します。



復興半ばの輪島漆会館



本堂設置明王募金

募金総額：502,207円 寄付先：輪島漆器商工業組合

## 令和七年 年回忌表

百回忌	五十回忌	四十七回忌	四十三回忌	三十七回忌	三十三回忌	二十七回忌	二十三回忌	十七回忌	十三回忌	七回忌	三回忌	一周忌
昭和十五年	昭和五十一年	昭和五十四年	昭和五十八年	(昭和六十四年)	平成五年	平成十一年	平成十五年	平成二十一年	平成二十五年	(平成三十一年)	令和五年	令和六年

檀信徒各家皆さまのご法事の目安にして下さい。

# 新栄寺行事予定 (4月～6月)

朝護摩供	(4月～11月)	午前 8 時
日中護摩供	土・日・祝日	午後 2 時
縁日護摩供	毎月 2 8 日	午後 1 時
御影供	5月～10月	午後 2 時

## 4月

4月 8日 (火) 釈尊灌仏会 (花まつり) 朝護摩後  
 4月28日 (月) お不動さまのご縁日 午後1時



## 5月

5月 6日 (火) 振替休日の為午後2時ご法楽 お経のみ  
 5月21日 (水) 弘法大師 御影供 2時護摩後  
 5月28日 (水) お不動さまのご縁日 午後1時

## 6月

6月21日 (土) 弘法大師 御影供 午後2時  
 6月28日 (土) 開創140周年記念大祭 午前11時  
 「成田山」本堂山号額完成 開眼式  
 稚児お練り行列





成田山だより「佛光」 第108号

発行日 令和7年3月1日

発行者 成田山札幌別院新栄寺

ホームページ <http://sapporo-naritasan.jp/>

または

〒064-0807

札幌市中央区南7条西3丁目2

☎ 011-511-0927 Fax 011-511-0928

